

1. 建物概要

建物名称	(仮称)瀬力ネトモ新越後島営業倉庫建築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-----------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	#DIV/0!	/5	#DIV/0!
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5	がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5	/5	ふつう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8	/5	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	
		ふつう 3 点以上	
		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目									
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点					#DIV/0!				
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④ガルバリウム鋼板の耐用年数は20～30年	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能				
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備				
				3.2	3.2.1	③	昼光制御				
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数				
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔					
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔					
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔					
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔					
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔					
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地の46.8%の空地を設け、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制				
			2			⑧	自然エネルギー利用				
			3			⑨	設備システムの高効率化				
			4	4.1		⑩	モニタリング				
				4.2		⑩	運用管理体制				
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬鉄骨造のため、解体しやすい。 ⑬断熱材は発泡剤を使わず、グラスウールを採用した。	LR-2	1	1.1		⑪	節水				
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無				
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無				
			2	2.1		⑫	材料使用量の削減				
				2.2		⑫	既存建築躯体等の継続使用				
				2.3		⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用				
				2.4		⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				
				2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材				
				2.6		⑫	部材の再利用可能性向上への取組み				
			3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用				
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤				
					3.2.2	⑬	断熱材				
					3.2.3	⑬	冷媒				
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮卓越風向に対する建築物の見付面積比を22%とし、風通しが良くなるよう配慮した。また、敷地や建築物に対し十分な台数の駐車場を設置し、交通負荷が抑制できるよう配慮した。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮				
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善				
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点					2.9				
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰電気設備に非常用発電設備を備えている。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性				
					2.1.2	⑯	免震・制振性能				
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備				
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備				
				2.4.3	⑰	電気設備					
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法					
				2.4.5	⑰	通信・情報設備					
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点					3.5				
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑水下梁天端がGL+9.53mとし、階高に余裕をもたせた。 ㉑壁長さ比率を0.07とし空間にゆとりを持たせた。	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画				
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり					
					3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ				
		■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮) ㉒屋外に人感センサー付きの照明を設置し、防犯性に配慮した。	Q-3	3	3.1		㉒	地域性への配慮、快適性の向上			
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点					2.8				
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地の46.8%の空地を設け、風の通り道を確保し、敷地内の温熱環境が良くなるよう配慮した。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出				
			2			㉓	まちなみ・景観への配慮				
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上				
		■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮隣等間隔指数0.94を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復しやすいようにした。	LR-2	2	2.5		⑫	持続可能な森林から産出された木材			
		LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善				